

新型コロナウイルス感染予防 大野田小ガイドライン

※12月11日(金)改訂

仙台市立大野田小学校
校長 高山 典子

授業実施にあたって

○マスク着用の徹底と予備としてランドセルに入れてほしいもの

基本的にマスクを着用して1日を過ごします。汚れたり、無くしたりした際の対応として、『予備のマスク』を1枚ランドセルに入れてくださるようお願いします。

その他の予備としてランドセルに入れてほしいもの：ハンカチ、割りばし

○席の『1列並び』と物の貸し借りについて

隣の子供と机を合わせた従来の「号車」を廃止し、隣同士の距離を保つようにします。

○教師を中心とした「一斉指導」(全員が同じ方向を向く)

当面は密集を避けるため、ペア学習やグループ学習による「話し合い活動」や「教え合い活動」を行わないようにします。※必要な「話し合い活動」や「教え合い活動」を行う際には、「密着しすぎない」、「短い時間で簡潔に行う」など臨機応変に対応していきます。また、文房具などの貸し借りは行いません。

○換気の日常化

教室の窓やドアを開放するなど換気を常に行い、意図的に空気の流れをつくるようにします。また、業間や昼休み、清掃時には必要に応じ「換気タイム」を設け、校内放送で全校に換気を呼び掛けます。

○音楽の学習

「歌唱」指導や「鍵盤ハーモニカ」、「リコーダー」を使用した管楽器演奏の活動は、可能な限り感染症対策(換気、消毒、手洗い、咳エチケット、身体的距離の確保等)を行った上で実施する。また、管楽器演奏の際には、可能な限り「近距離」にならないように配慮します。

○体育の学習

室内(体育館)においては「学級単位」を基本とします。また、複数の学級が校庭を使用する際は、間隔を空けて整列する(準備運動をする)、可能な限り個人でできる走・跳の運動(陸上運動)や一定の距離を保ちながら行うことができる縄跳び運動など、少人数でできる運動を取り入れることができるようにします。

また、体育の授業におけるマスク着用は、身体へのリスクを考慮し、必要ないものとします。

ただし、マスクを外している間は児童間の距離を一定に保ったり、可能な限り不必要な会話や発声を行ったりしないようにします。(マスク着用の希望があれば着用することもできます)

○家庭科の学習

調理実習については、可能な限り感染症対策(換気、消毒、手洗い、咳エチケット、身体的距離の確保等)を行った上で実施する。また、実習後の会食については、給食の留意事項に準じると共に、「児童全員の食事前の手洗いの徹底」と「飛沫を飛ばさないように向かい合っただけの喫食はしない、大声での会話は避ける」等の対策を講じる。

○総合的な学習の時間

PCやタブレット端末を使用する際、使用「前後」に手洗いを徹底します。

○休み時間の過ごし方

会話する際にはマスクを外さず、また向かい合わないよう指導しています。

「外遊び」については遊び方や校庭使用のルールの確認を十分に行いました。校庭の密集の状態や児童の様子に応じて、少しずつ変更していきます。特に外遊びから戻る際には、密集状態をつくらないように時間差を設けるとともに、手洗いをしっかりとるように指導します。

○清掃について

床は、「掃き掃除」とモップを使った「水拭き」をします。たなとロッカーの上も水拭きをします。トイレ掃除は、当面の間、掃き掃除と物品の補充のみの活動とします。清掃後には必ず手洗いをするように指導します。

○手洗いや感染予防について

臨時登校時にも「新型コロナウイルス感染防止」のための指導を行いました。今後も継続して行います。手を洗う際の密集を避けるために時間差を設けたり、指導する水道の分散をしたりします。水筒の持参についてはこれまで通りですが、学校の蛇口を使用する場合は、直接口をつけないことや、飲み終わったら蛇口を下向きにしておくことを指導します。

健康状態の確認について

○検温と健康状態の確認

毎朝のご家庭での協力が感染拡大防止に不可欠です。お子さんの安全確保と感染拡大防止の観点から、家庭での検温と健康観察をしっかりと行ってください。なお、風邪等の症状が見られる場合には、無理をさせず自宅で休養するようお願いいたします。検温の結果は、保護者の方が記入の上、お子さんに持たせてください。

○登校後の体調の変化について

登校後の発熱や体調不良など、お子さんの体調に変化が見られた場合には、学校から保護者の方に電話連絡をします。いつでも連絡が取れるようにご協力をお願いします。

○ハンカチの持参について

感染拡大防止のため、活動の前後に手洗いをを行うことにより手洗いの回数が一層増します。つきましては、ハンカチを複数枚持参させてください。

○感染が不安な場合

医療的ケアや基礎疾患があるなど、重症化のリスクが高いと考えられる場合は、主治医にご相談の上ご連絡いただき、個別に対応させていただきます。その際、登校すべきでないと判断された場合は「出席停止」となります。その他、心配なことがございましたら学校までご相談ください。

○心のケアについて

感染経路が特定できないケースが増えてきています。誰もが感染のリスクに直面しており、感染したことで感染者や濃厚接触者に対する偏見や差別、いじめにつながるものがあっては決してなりません。日頃から児童全体への指導を通して「自分事」として考えさせ、それらの防止に努めて参ります。

○児童や教職員が感染した場合

症状が改善し、感染の疑義がなくなるまで出席停止（自宅待機）となります。今後、突然の「休校」（臨時休業）を余儀なくされることも考えられます。その際は、一斉メールやホームページ等で速やかにお知らせいたします。

給食について

○手洗いについて

石けんを使い丁寧に洗い、その後、流水で十分に流します。

○給食当番について

給食当番は白衣，帽子，マスクを着用します。ない場合は給食当番を行うことはできません。また，健康管理チェックを行って記録し，給食当番は他の児童より先に手洗いを行います。

○準備について

十分に換気を行います。その後，自分の机上台ふきんでふいて「ランチョンマット」を広げます。グループにはせずに前を向いて待ちます。

※手を洗ったら着席し，マスクをしたまま自分の席で静かに待ちます。

○配食の仕方について①

配膳に関わる人数を制限し，児童の会話等による飛沫が生じないようにします。

※食器を渡す当番をなくす，トレイは各自で取る，食器はおかずを配食する人の側において配食する人のみが触れるようにするなど，食器に触れる人数（回数）を可能な限り少なくします。

○配食の仕方について②

配膳台を教室の後方に置き，配膳が終わった児童の給食の前を通らないようにします。また，配膳台の前に並ぶ人数を最小限にし，それ以外の児童については基本的に着席している状態とします。

○食事と片付け，下膳について

マスクを着用したまま「いただきます」の挨拶をし，その後マスクを取り前を向いて静かに食べます。基本的に配食量の調整のために，一度配食したものを回収することはしません。また，「おかわり」で離席することを避けるために，おかず等は担当が分けきるようにします。その後の「ごちそうさま」では，マスクを付けて順番に片付けます。なお，食べ残しの片付けは基本的に児童本人が行いますが，終了後にしっかりと手洗いを行うよう声掛けし指導します。

臨時休業中に配布したお知らせと重複する部分があります。
感染の状況や児童の様子に応じ，随時変更します。